平成 29 年度第 61 回理工学部学術講演会予稿集によせて

61 回目を迎えます今年度の理工学部学術講演会は，12 月１日（金），駿河台校舎１号館において開催される運びとなりました。17 に及ぶ科学技術分野の一般セッションにおいて，６１５件（口頭発表３２５件，ポスター発表２９０件）の発表が行われます。まさに本学部が総力を挙げて取り組む学術的行事であるといえます。

今年度の学術賞受賞者による記念講演のほか，「理工学部プロジェクト研究助成金」及び「理工学部応用科学研究助成金」の成果報告が行われます。また，理工学研究所講演会「理工学部における研究の社会実装―これまでとこれから―（その２）」も同時開催されます。個々の研究力の高さ，多岐にわたる分野が共存する本学部の強みを象徴するセッションとなると期待しています。

各部会では，本予稿集をご覧になればお分かりのように，大学院生さらには学部生も積極的に発表に取り組んでいます。たくさんの聴衆の中ではじめての発表となる学生のみなさんは，予稿の作成段階から，すでに緊張状態にあるかもしれません。研究を進展させる上ではいくつかのフェーズがあり，種蒔きや萌芽の時期もあれば，収穫の時期もあります。今回の発表を通し，先生方や学外研究者の方々，これまで机を並べてきた仲間たちに，日々の研鑽の成果を「伝える」だけでなく，質疑応答での議論を「学ぶ」機会としていただければと思います。そして，研究に磨きをかけ，また深化させ，国内外の学会発表にもチャレンジしていただきたいと切に願っています。学生のみなさんの今後の活躍が，魅力あふれる日本大学理工学部の明日を拓いていくのですから。

最後になりましたが，本学術講演会の開催にご尽力くださいました教員，職員の皆さまに，心より御礼申し上げます。

日本大学理工学部長
岡田　章